

当ファンドは単位型のケイマン籍オープンエンド型外国投資信託であり、当レポートの日付現在、募集を行っており、取得のお申し込みは出来ません
プレシヤス・トラスト

ベトナム・インフラストラクチャー・ファンド

Vietnam Infrastructure Fund

ケイマン籍オープンエンド型外国投資信託
月次レポート 2016年6月

【当ファンド(ベトナム・インフラストラクチャー・ファンド)の特徴】

当ファンド(ベトナム・インフラストラクチャー・ファンド)は、パフォーマンス・リンク債に投資する公募外国公社債投資信託です。パフォーマンス・リンク債を通じて投資効果が連動する対象は、ベトナムの運用会社であるビナキャピタル・インベストメント・マネジメント・リミテッドが運用するファンドであるベトナム・インフラストラクチャー・リミテッド、および、ベトナムの運用会社であるビナウェルス・ファンド・マネジメント・ジョイント・ストック・カンパニーが運用するファンドであるフォーラム・ワンのサブ・ファンドである、フォーラム・ワン-VCG パートナーズ・ベトナム・ファンドです。ベトナム・インフラストラクチャー・リミテッドはクローズド・エンド型(いわゆる会社型投資信託/投資法人)であり、その証券(種類株式)2種類がロンドン証券取引所の新興市場(AIM)に上場されています。フォーラム・ワンはルクセンブルグ法に基づき設立された、変動資本を有する投資法人(SICAV)です。

【月次パフォーマンス】

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年次
2007	-	-	-	-	-	-2.48%	-0.48%	-6.79%	6.29%	2.27%	-5.96%	-1.32%	-8.75%
2008	-14.26%	11.92%	-7.91%	-6.47%	-9.29%	-18.18%	5.27%	-14.29%	-28.95%	-40.30%	-22.08%	5.93%	-80.62%
2009	40.05%	-7.96%	16.10%	-15.27%	45.94%	3.88%	2.32%	-4.77%	6.37%	2.87%	0.97%	-8.28%	89.82%
2010	11.68%	-0.67%	8.51%	-7.95%	-7.56%	-1.02%	1.03%	-2.09%	3.89%	5.78%	-0.11%	-2.79%	7.03%
2011	0.14%	-4.06%	-6.58%	2.20%	-10.74%	-1.09%	-3.78%	-11.43%	-7.34%	-1.57%	-4.56%	-7.65%	-44.52%
2012	0.30%	10.51%	11.95%	0.28%	-16.05%	-5.62%	16.49%	1.97%	7.75%	5.88%	2.82%	-2.78%	33.57%
2013	4.70%	4.52%	3.64%	0.50%	2.37%	-0.90%	-0.49%	0.85%	-0.45%	1.53%	9.74%	-3.04%	24.79%
2014	0.51%	6.47%	5.49%	-0.64%	-7.17%	-2.08%	7.62%	0.99%	3.53%	3.28%	-0.81%	-1.90%	15.29%
2015	1.17%	-3.12%	-0.72%	-0.30%	-1.64%	1.86%	5.48%	-20.27%	-1.82%	-1.30%	10.09%	-2.90%	-15.33%
2016	4.38%	5.41%	-2.80%	4.07%	0.36%	-2.54%							8.85%

【ファンドの運用状況】

ファンドの基礎データ

設定日	平成19年6月18日
償還日	平成29年7月20日
決算日	年1回(原則4月30日)
* 基準価額	35.30 米ドル
* 受益権口数	476,600 口
* 純資産総額	16.83 百万米ドル
* 設定来騰落率	-64.70 %

* 基準日現在

運用状況のハイライト

当ファンドの一口当たり基準価格は
2016年6月30日現在 35.30 米ドルとなりました。

2016年6月30日現在、当ファンドの月次騰落率は
-2.54%、設定来騰落率は -64.70% となりました。

- 書面は管理会社であるムーア・マネジメント(バーミューダ)リミテッドが作成したものです。
- 信頼できると判断する情報に基づいて作成しておりますが、その内容の正確性や完全性を保証するものではありません。
- 将来の市場環境の変化や基準価格の変動を予測するものではなく、ご参考情報を御提供するものです。
- 本書面の内容は事前の通知なく変更されることがあります。

MOORE

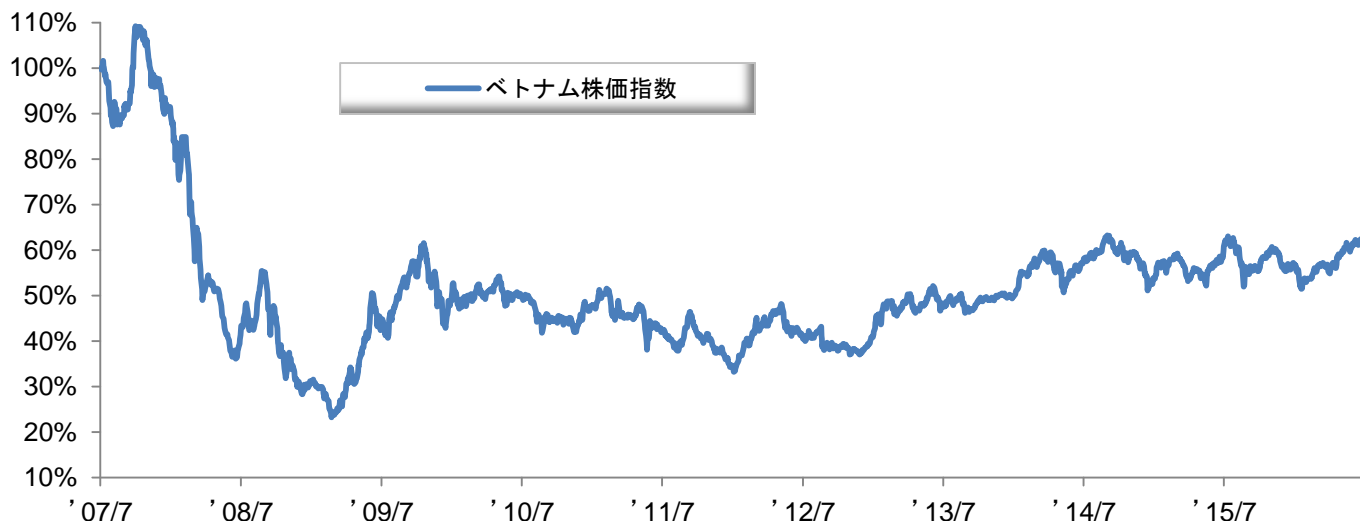
当ファンドは単位型のケイマン籍オープンエンド型外国投資信託であり、当レポートの日付現在、募集を行っておらず、取得のお申し込みは出来ません
プレシヤス・トラスト

ベトナム・インフラストラクチャー・ファンド

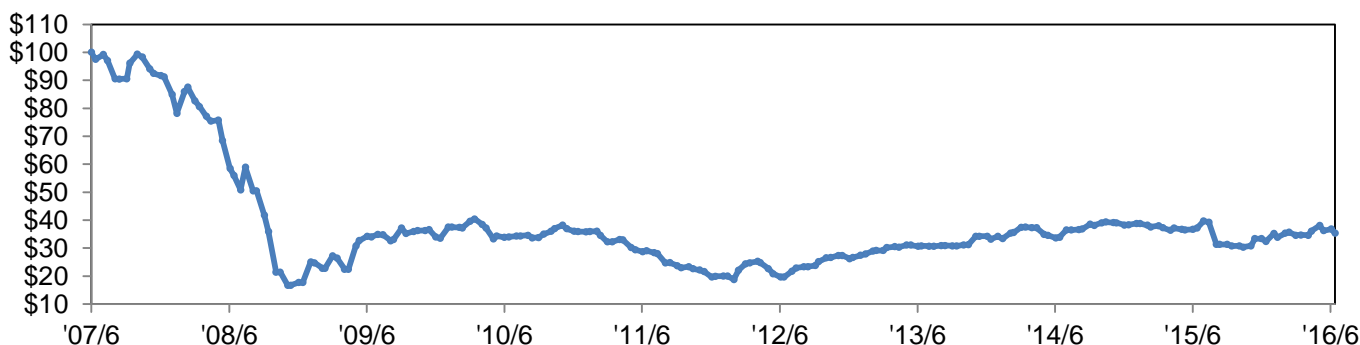
Vietnam Infrastructure Fund

ケイマン籍オープンエンド型外国投資信託

月次レポート 2016年6月

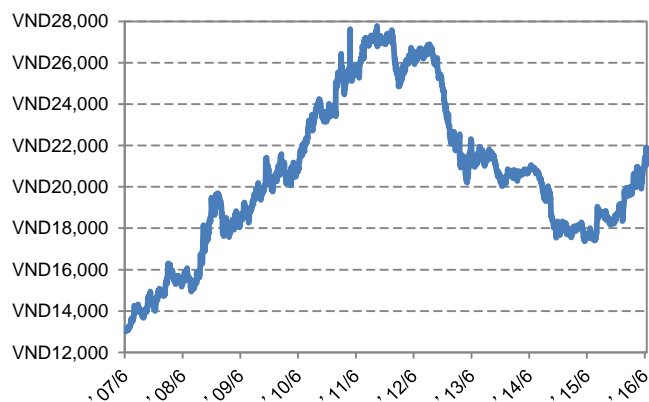
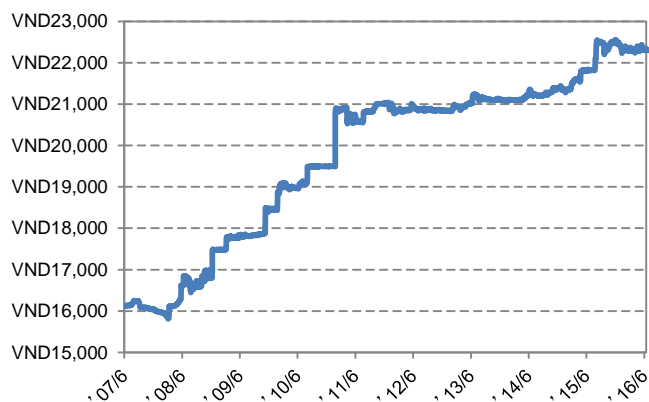


【基準価額の推移】



【USD/VND 為替推移】

【JPY/VND 為替推移】



- ベトナム株指数、為替推移のデータの出所はブルームバーグです。
- ベトナム株指数としてベトナムVN指数(ベトナム証券取引所上場の全銘柄で構成された時価総額加重平均の株価指数)を用いております。ベンチマークではなく、あくまでご参考情報です。

- 書面は管理会社であるムーア・マネジメント（パーミューダ）リミテッドが作成したものです。
- 信頼できると判断する情報に基づいて作成しておりますが、その内容の正確性や完全性を保証するものではありません。
- 将来の市場環境の変化や基準価格の変動を予測するものではなく、ご参考情報を御提供するものです。
- 本書面の内容は事前の通知なく変更されることがあります。

MOORE

当ファンドは単位型のケイマン籍オープンエンド型外国投資信託であり、当レポートの日付現在、募集を行っておらず、取得のお申し込みは出来ません
プレシヤス・トラスト

ベトナム・インフラストラクチャー・ファンド

Vietnam Infrastructure Fund

ケイマン籍オープンエンド型外国投資信託
月次レポート 2016年6月

【ベトナム・インフラストラクチャー・リミテッド概要】

ベトナム・インフラストラクチャー・リミテッドは、ベトナムおよび周辺アジア諸国におけるインフラ・プロジェクトおよびインフラ資産を保有する会社の分散化されたポートフォリオに投資することをその主たる活動とするクローズド・エンド型投資信託として設立されました。その発行する2証券（種類株式）は、それぞれロンドン証券取引所の新興市場（AIM）に上場されています。

【フォーラム・ワン-VCG パートナーズ・ベトナム・ファンド概要】

フォーラム・ワン-VCG パートナーズ・ベトナム・ファンドは、変動資本を有するオープンエンド型投資法人であるフォーラム・ワンの最初のサブ・ファンドです。主として、ホーチミン証券取引所またはハノイ証券取引所で上場または取引されている発行体、あるいは、経済活動の主要部分をベトナムで行い、世界中の株式市場で上場または取引されている発行体、いずれかの発行体の上場有価証券への投資に特に注力しています。

【投資運用会社概要】

ベトナム・インフラストラクチャー・リミテッドの投資運用会社であるビナキャピタルは2003年に設立され、現在、ベトナムにフォーカスした投資会社であるベトナム・オポチュニティー・ファンドおよびベトナムと周辺アジア諸国の不動産関連に投資する投資会社であるビナランドの投資運用会社でもあります。フォーラム・ワン-VCG パートナーズ・ベトナム・ファンドの投資運用会社であるビナウエルスは、ビナキャピタル・グループに属する会社であり、State Securities Commission of Vietnamに登録されています。

- 書面は管理会社であるムーア・マネジメント（バーミューダ）リミテッドが作成したものです。
- 信頼できると判断する情報に基づいて作成しておりますが、その内容の正確性や完全性を保証するものではありません。
- 将来の市場環境の変化や基準価格の変動を予測するものではなく、ご参考情報を御提供するものです。
- 本書面の内容は事前の通知なく変更されることがあります。

MOORE

ベトナム・インフラストラクチャー・ファンド

Vietnam Infrastructure Fund

ケイマン籍オープンエンド型外国投資信託
月次レポート 2016年6月

【マーケットコメント】

ベトナム・インフラストラクチャー・リミテッドのマネージャーのコメント

VNI シェアクラス

2016年6月30日現在のVNIの純資産総額は8,440万米ドル、一株あたり純資産価格は0.24米ドルとなり、前月比で11.2%減少しましたが、これは2016年6月6日に一株あたり0.03米ドルを分配したためです。この分配金による影響を調整したベースでは、当月のVNIの純資産総額は0.4%増になります。VNIの株価は前月比で安定推移し、0.19米ドルで引けました。その結果、純資産価格に対する当ファンドの株価のディスカウント率は21.1%に縮小しました。

VNIL シェアクラス

2016年6月30日現在のVNILの純資産総額は3,830万米ドル、一株あたり純資産価格は0.36米ドルで、前月から6.5%増加しました。VNILの株価は前月比で低下し、0.29米ドルで引けました。その結果、純資産価格に対する当ファンドの株価のディスカウント率は18.8%に拡大しました。

2016年6月7日、VNIはVNI PE株主を対象とした1,100万米ドルの分配の結果を報告しました。有効に提出された「エレクトリオン・フォーム」および「トランスファー・フォーム」両様式の書類に基づき、分配金の74.5%、総額にして820万米ドルは、現金払いの形式で支払われました。残りの25.5%、総額にして280万米ドルについては、「ベトナム・インフラストラクチャー・ファンドの運用会社（the Company）」が同社名で「フォーラム・ワン-VCG パートナーズ・ベトナム・ファンド（Forum One-VCG Partners Vietnam Fund、略称VVF）」に応募した後（小数第3位未満を切り捨て）、該当する「有資格株主（Eligible Shareholder）」にトランスファー（譲渡）しました。

資本市場の動向

VNILの原資産である「フォーラム・ワン-VCG パートナーズ・ベトナム・ファンド（Forum One-VCG Partners Vietnam Fund、略称VVF）」は6月も引き続き、ベトナム株価指数（VN指数）をアウトパフォームし、クラスA株式一株あたり純資産価格は米ドル換算で前月比6.6%上昇しました。当月は当ファンド開設以来、2番目に良好な月間パフォーマンスを達成しました。

マクロ経済の状況

マクロ経済ニュースでは、（通年のGDP成長率目標6.7%と比較すると）2016年上半期の成長率は5.5%と、かなりゆっくりとした伸びになりましたが、これは主に最近の干ばつの影響を受けて、農林漁業部門が同期間に0.18%減少し、また農業総生産高が0.78%落ち込んだことによるものです。

これを心配の種と見る向きがあるかもしれませんが、ベトナム経済の他の構成要素は引き続き堅調さを示していることに留意することが大切です。鉱工業生産高は7.5%増加し、また6月の製造業購買担当者景気指数（PMI）は52.6となり、前述の大見出しの数値にもかかわらず、景況感は依然として堅調であることを示しています。

我々の見通しでは、ベトナム政府は上半期に未達の成長率を下半期に埋め合わせようと試み、その手段としてインフラなどの分野で財政支出を上乗せするほか、健全な与信の流れが経済に流入するのを容認すると見られます。こうした対策は企業収益の支えになるはずですが。

（次頁へ続く）

- 書面は管理会社であるムーア・マネジメント（バーミューダ）リミテッドが作成したものです。
- 信頼できると判断する情報に基づいて作成しておりますが、その内容の正確性や完全性を保証するものではありません。
- 将来の市場環境の変化や基準価格の変動を予測するものではなく、ご参考情報を御提供するものです。
- 本書面の内容は事前の通知なく変更されることがあります。

MOORE

ベトナム・インフラストラクチャー・ファンド

Vietnam Infrastructure Fund

ケイマン籍オープンエンド型外国投資信託
月次レポート 2016年6月

外国直接投資は堅調さを維持

外国直接投資(FDI)は引き続きベトナム経済をけん引しており、6月末までの年初来コミットメント(誓約額)は105%、同流入額は15%それぞれ増加しています。製造・加工部門が81億米ドルと、今年上半期に資本金として登記されたFDI額の圧倒的な大半を引き付けており、これに6億米ドルの不動産部門が続きます。国別では、韓国が依然としてベトナムの主要な外国投資家であり、その投下資本は40億米ドルに上り、FDI登記総額の35%を占めています。

インフレ率は昨年の低水準から上昇

ベトナムの消費者物価指数(CPI)は6月に前月比で0.5%、前年同期比で2.4%上昇しました。これは、インフレ率が昨年のおお半にわたって0%前後で推移した後、上昇を続けている流れを受けたものです。6月のCPIの上昇は主にガソリン価格の上昇によるものであり、輸送費は前月比3%増加しました。年初来ベースでは、ベトナムのCPIは2.35%上昇していますが、これは主に医療費の増加によるものです。ちなみに同費用は年初来25.4%上昇しています。また食品・ケータリングサービスは年初来2.3%上昇しています。

ブレグジットをよそに、ベトナム・ドンは安定推移

ブレグジット(英国のEU離脱)が中長期にわたってベトナムに及ぼし得る最大の影響は、おそらくベトナム・ドンに関するものでしょう。ベトナム国家銀行によれば、ベトナム・ドンは対米ドルで年初来1%上昇しています。金利は依然として低水準にあり、ベトナム・ドンは今後もかなり安定した状態を保つ見込みです。またベトナム・ドンについては単発の通貨切り下げを見込んでいませんが、これは中国が人民元の通貨切り下げに踏み切るかどうか大きく依存します。踏み切る場合はベトナムも当然それに続くと思われるべきです。また我々は2016年のベトナム・ドン切り下げ率の予想を前回の3.5%から2.5%に引き下げました。

- 書面は管理会社であるムーア・マネジメント(バーミューダ)リミテッドが作成したものです。
- 信頼できると判断する情報に基づいて作成しておりますが、その内容の正確性や完全性を保証するものではありません。
- 将来の市場環境の変化や基準価格の変動を予測するものではなく、ご参考情報を御提供するものです。
- 本書面の内容は事前の通知なく変更されることがあります。

当ファンドは単位型のケイマン籍オープンエンド型外国投資信託であり、当レポートの日付現在、募集を行っておらず、取得のお申し込みは出来ません
プレシヤス・トラスト

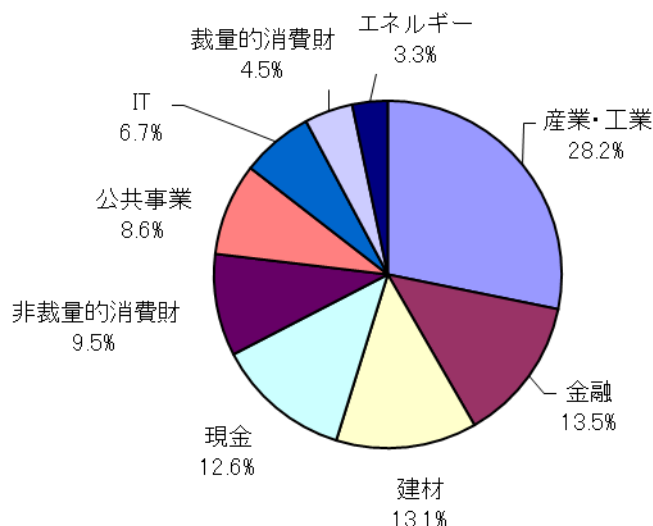
ベトナム・インフラストラクチャー・ファンド

Vietnam Infrastructure Fund

ケイマン籍オープンエンド型外国投資信託
月次レポート 2016年6月

【ベトナム・インフラストラクチャー・リミテッドー上場ポートフォリオ株式(VNIL¹)の資産配分状況】

業種別組入比率 (対NAV比) (%)



【ベトナム・インフラストラクチャー・リミテッドー上場ポートフォリオ株式(VNIL¹)保有組入銘柄上位】

	銘柄名	業種	比率	概要(事業内容など)
1	ビナミルク(VNM)	非裁量的消費財	9.5	大きな市場占有率を有する乳製品大手
2	ベトナムコンテナグループ株式会社(VSC)	産業・工業	7.5	ベトナム北部の港湾運営会社で、ハイフォンのコンテナ貨物取扱で12~15%の安定した市場占有率を有する
3	FPT情報通信株式会社(FPT)	IT	6.7	ベトナムでのテクノロジー会社大手で、ソフトウェア開発、システム統合、通信サービス、配信に特化
4	ホアファット鉄鋼グループ(HPG)	建材	5.3	大手鉄鋼製造会社、建築用鋼材と鋼管に特化
5	ビンミン・プラスチック(BMP)	産業・工業	4.6	プラスチック製品製造大手
6	コテックコンストラクション(CTD)	産業・工業	4.6	中堅の産業用建設会社
7	カンドン水力発電株式会社(SJD)	公益事業	4.1	ビンフック省での設計発電量77.6メガワットの水力発電プロジェクト会社
8	ペトロベトナムガス(GAS)	公益事業	3.8	天然ガス製造と関連サービスにおける大手企業
9	ベトコムバンク(VCB)	金融	3.7	主要行のひとつ
10	ディエンクアン(DQC)	産業・工業	3.4	照明関連品・電気機器の製造会社

¹この欄に記載された上場株式は、VCG パートナーズ・ベトナム・ファンド(VVF)を通じて間接的に保有されているもので、比率は、VNIL分となる現金を含めて調整されています。2016年2月17日付の公開買付けによるVNILの買い戻しの結果、ベトナム・インフラストラクチャー・リミテッドはVVFの持ち分を3,288,435.51口保有しています。

- 書面は管理会社であるムーア・マネジメント(パーミュエダ)リミテッドが作成したものです。
- 信頼できると判断する情報に基づいて作成しておりますが、その内容の正確性や完全性を保証するものではありません。
- 将来の市場環境の変化や基準価格の変動を予測するものではなく、ご参考情報を御提供するものです。
- 本書面の内容は事前の通知なく変更されることがあります。

MOORE

当ファンドは単位型のケイマン籍オープンエンド型外国投資信託であり、当レポートの日付現在、募集を行っておらず、取得のお申し込みは出来ません
プレシヤス・トラスト

ベトナム・インフラストラクチャー・ファンド

Vietnam Infrastructure Fund

ケイマン籍オープンエンド型外国投資信託
月次レポート 2016年6月

【ベトナム・インフラストラクチャー・リミテッドー未公開株式(VNI) 保有組入銘柄上位】

	銘柄名	業種	比率	概要(事業内容など)
1	VNC 55 Infrastructure JSC ²	通信	25.8	ダナン市を本拠にする、携帯電話基地局の賃貸会社。ベトナム中部を中心に展開。
2	Global Infrastructure Investment JSC ²	通信	25.6	ホーチミン市を本拠にする、携帯電話基地局の賃貸会社。ベトナム南部を中心に展開。
3	Mobile Information Service JSC ²	通信	18.1	ハノイ市を本拠にする、携帯電話基地局の賃貸会社。ベトナム北部を中心に展開。
4	Long An Industrial Service & Residential	工業団地	2.6	ロンアン省における複合大規模開発。

² SEATHグループ会社

- 前頁および上記の概要(事業内容など)は、ベトナム・インフラストラクチャー・リミテッドの投資運用会社であるピナキャピタルの2014年第1四半期、第4四半期、2015年第1四半期、2016年6月分のレポート、ならびに、2015年7月22日公表の「AIM Admission Document」に基づきます。

※ ベトナム・インフラストラクチャー・リミテッドの再編、現物配当等があった為、レポートのレイアウトを変更致しました。

- 書面は管理会社であるムーア・マネジメント(バーミューダ)リミテッドが作成したものです。
- 信頼できると判断する情報に基づいて作成しておりますが、その内容の正確性や完全性を保証するものではありません。
- 将来の市場環境の変化や基準価格の変動を予測するものではなく、ご参考情報を御提供するものです。
- 本書面の内容は事前の通知なく変更されることがあります。

MOORE

当ファンドは単位型のケイマン籍オープンエンド型外国投資信託であり、当レポートの日付現在、募集を行っておらず、取得のお申し込みは出来ません
プレシヤス・トラスト

ベトナム・インフラストラクチャー・ファンド

Vietnam Infrastructure Fund

ケイマン籍オープンエンド型外国投資信託
月次レポート 2016年6月

【投資リスク】

当ファンドは、ベトナム・インフラストラクチャー・リミテッドの発行する証券の価格、および、フォーラム・ワン-VCG パートナーズ・ベトナム・ファンドの価格、に実質的に連動します。ベトナム・インフラストラクチャー・リミテッドの発行する証券の価格は、ロンドン証券取引所の新興市場（AIM）の市場価格であり、価格変動リスクにより損失が生じることがあります。また、AIM での取引市場で十分に流動性があるとは限らず、取引価格がベトナム・インフラストラクチャー・リミテッドの純資産価格を十分に反映していない価格での処分を強いられる可能性があります。また、フォーラム・ワン-VCG パートナーズ・ベトナム・ファンドの価格は変動しますし、投資先の流動性が充分でなく、容易に換金できない可能性があります。

当ファンドは米ドル建てであり、仮に米ドル建てで元本を上回っていても、日本円に換算した場合には、米ドル/円の為替リスクにより、損失が生じることがあります。当ファンドの直接の投資先は、パークレイズ・バンク・ピーエルシー手配の特別目的会社であるダリ・キャピタル・ピーエルシー（以下「本社債発行会社」）の発行する、パフォーマンス・リンク債であるため、本社債発行会社の資金繰り等が悪化すると、償還金の支払い等の債務が履行されず、損失が生じることがあります。したがって、ご投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、受益証券一口当たりの純資産価格の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。

【手数料等】

申込手数料： 購入価格に対して上限 3.24%（税込み）

買戻手数料： 買戻価格に対して上限 3.24%（税込み）

管理報酬： 額面に対して年率 0.3%

受託報酬： 額面に対して年率 0.1%、毎月 1,000 米ドルの固定報酬、その他取引処理費用等実費

販売報酬： 額面に対して年率 0.7%

設立費用等： 当初募集総額の 0.22%相当（償却済み）

本社債手数料： 当初募集総額の 2%相当（償却済み）、額面に対して初年度は年率 1.1%（2 年目以降は年率 0.6%）

ベトナム・インフラストラクチャー・リミテッド、フォーラム・ワンにかかる手数料： 上場ポートフォリオ株式に関し、当該株式が対応しているフォーラム・ワン-VCG パートナーズで純資産を基準とした、プライベート・エクイティ株式に関し、当該株式が対応している投資対象の売却額等を基準とした、さらに、フォーラム・ワン-VCG パートナーズで純資産を基準とした、それぞれ運用関連手数料。

その他、取締役報酬、監査報酬等の実費

【販売会社に関する情報】

当ファンドの販売会社は、エース証券株式会社（大阪府大阪市中央区本町二丁目 6 番 11 号）であり、証券業を営む証券会社（金融商品取引業者）です。日本の金融庁の監督下にある証券会社であり、登録番号は、近畿財務局長（金商）第 6 号です。また、日本証券業協会の会員です。

【その他関係法人等】

管理会社： ムーア・マネジメント（バーミューダ）リミテッド／管理会社としての業務を行います。

管理事務代行会社： HSBC インスティテューショナル・トラスト・サービス（アジア）リミテッド／純資産価格の評価や管理業務を行います。

代行協会員： エース証券株式会社 / 代行協会員業務を行います。

【本資料をお客様にご提供する金融商品取引業者名等】



商号等： エース証券株式会社（金融商品取引業者）登録番号： 近畿財務局長（金商）第 6 号

加入協会： 日本証券業協会

指定紛争解決機関 特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター

- 書面は管理会社であるムーア・マネジメント（バーミューダ）リミテッドが作成したものです。
- 信頼できると判断する情報に基づいて作成しておりますが、その内容の正確性や完全性を保証するものではありません。
- 将来の市場環境の変化や基準価格の変動を予測するものではなく、ご参考情報を御提供するものです。
- 本書面の内容は事前の通知なく変更されることがあります。

MOORE